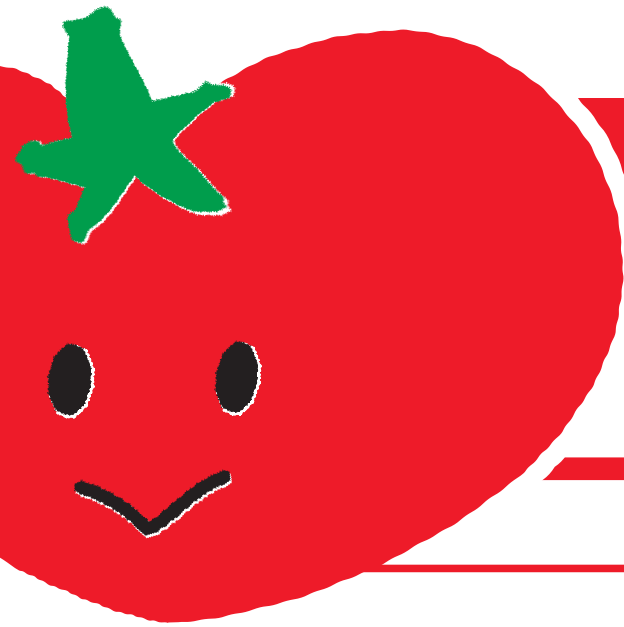


# とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2010.8 August vol.14



## 地域主権の確立 互いに支え合う地域

6月1日から22日まで、六月定例議会が開かれました。

今回は、問一答方式で一般質問を行いました。知事の地方主権に対する考え方、高齢者支援、そして、ふるさと納税について質問を行いました。十分に質問できなかったうちに終わってしまいました。課題を残した部分に

ついでに再度挑戦することとし、質問内容について報告します。

### 地方主権について

雑誌「ガバナンス」6月号に新政権が地方主権の確立を進める中で、地方が豊かになるための知事の提言として、溝口知



問一答方式で質問

事のインタビュー記事が掲載されていきました。

新政権が、地方主権を発揮するための一括交付金の配分に当たって、インフラ整備が十分でない地域はその配分を厚くすることを提言しています。知事は、一定水準を厚くしてインフラ整備を行うと、地方は住みやすくなって、企業も立地して、人口が分散する、それによって日本が活性化すると述べています。

一定のインフラ整備とは、どういうことか。知事 整備のおくれたところは、遅れたところに特別な事情があるから、そういうものを配慮してほしい。そこを一定程度、一定という言葉で言いあらわしているが、整備の遅れたところにも配慮するような仕組みをぜひ盛り込んでいただきたいということ。

一方で知事は、ヨーロッパは自然が豊かで、地方が数多く残っているということを紹介され、日本ももう少し生活を豊かにして、自然や文化や伝統を大事にするべき時代に入ったとも述べられています。

インフラ整備をどんどん進めると言いながら、一方で自然豊かな地方を残していくとい

う、両方が兼ね備えられた島根というのはどういう姿なのでしょうか。

地域にきちんとしたコミュニティが残っていて、お互いが支え合うことで地域が残っているのがこの島根の特徴であり、それを守っていくことが必要ではないでしょうか。

お互いが支え合う地域を生かすことで人口が増えていくと思うが、いかが。

知事 小都市の周辺に中山間地域が生き生きとして存在していることが必要。

産業がないと人が住めないから、そのためには一定程度のインフラの整備が必要で、地方あるいは中山間地域に人が住みやすくなる。

### 高齢者支援について

知事は、介護を始めさまざまな分野で地域の力を生かしたいと述べられています。島根の高齢化率は日本一という状況が続いていますが、地域の力を生かす分野として、高齢化への対応があります。

地域の中で私たちがどう暮らし、どう人生を全うするのか、知事はどのように考えているのか。

知事 島根各地を回ると、皆さん元気に、公民館とか自治会などで活動されている。非常に人間的な触れ合いがある。

大事なことは、地域の方々が協力し合う仕組み、あるいは地域の中でも一人で住まいるの方、あるいは病気で住まいの方がおられ、みんな助け合う仕組みを島根でやっていくこと。産業振興と同時に、そうした地域社会を守る活動をみんなやっていきたい。

### 民主党政治スクール

民主党島根県連では、政治課題について国会議員を講師に学び、政治への関心を高めようと、今年3月から6月までを前期として毎月開催しました。前期はできるだけ多くの皆さんに出席していただけるようオープンスクール方式で行いました。

第一回は枝野幸男行政刷新担当大臣(当時)、第二回は逢坂誠二首相補佐官、第三回は梅村聡参議院議員、第四回は国土交通委員会委員長川内博史衆議院議員とそれぞれの分野で活躍する議員の皆さんに講義をしていただきました。

第一回目の枝野大臣は、事業目的の重要性とそのため税金が使われているのか整理する必要がある、整理すれば少ないお金で成果が上がる。徹底的にメスを入れ、無駄遣いをなくし、優先順位をつけることで予算にメリハリをつけると、仕分けについて述べられました。

第二回目の逢坂誠二首相補佐官は、小泉首相の「地方のことは地方で、民でできる」とは民で「の考えはいいが、そのため中央政府が何をやるのかを考えられず、地方が



トップバッターの講師枝野行政刷新担当大臣(当時)



時間を惜しんで講義する逢坂誠二首相補佐官

置き去りにされてきた。今は地域の中でマーケットとガバメントとコミュニティの塩梅をどうやっていくのかを考えると、地域主権について語られました。

第三回目の梅村聡参議院議員は、医師不足と医師の偏在への対応として、自治医科大学方式で何年間かの地域勤務を義務付けることや、どんどん分化する診療科に医療が高度化するなかでの治療を「たしかう医療」といわれましたが、その専門医制度のあり方を見直していくこと、あるいは医師の強制配置などを提案され、これから議論を進めていく必要性を話されました。

第四回目の国土交通委員会委員長川内博史衆議院議員は、政権交代は国民の民意。普政権にも期待をいただいているとしつつ、税制議論の前に無駄遣い撲滅や特別会計の埋蔵金活用を進めるべきと消費税議論に苦言を呈されました。秋からの後期の政治スクールは、議員を目指す人たちを対象としたものにして開催する予定です。



# とまちゃん通信

## ふるさと納税について

知事は、ふるさと納税について、財政によつて財源を賄うのではなく、寄附を通じて賄うもので、財政でできない非常に柔軟な仕組みであつて、柔軟な活動を支えていくことができるということで、この制度を導入されました。

このふるさと納税の現状は。政策企画局長 ふるさと納税制度は、平成20年度から始まり、実績的には、県分としては20年度から21年度にかけて若干減っているが、全県、市町村も合わせると大体横ばいで、今の景気の悪い中でそれなりの

## 補正予算（航空路維持）を考える

今回の6月議会では、航空路線を維持するために、利用促進を図る運賃助成等に1億円近いお金を使う補正予算案が提案されました。特に、存続が危ぶまれる石見空港は、建設計画当初の需要予測は現状の10倍を見込んだ計画となつており、その計画の甘さと路線開設後の取り組みの不

十分さを今に露呈しています。今回は補正予算について賛成はしましたが、この結果を見たらうで、今後この空港をどうするか地元の方々も巻き込んでしっかりと議論して、結論を出す必要があります。6月議会中に、民主県民クラブで県西部の公共交通について勉強会をしました。

## 県内航空路線緊急利用促進事業 (空港別内訳)

予算額：200,234千円 (単位：千円)

	萩・石見空港	隠岐空港	出雲空港
利用促進	促進協議会へ助成 80,000	促進協議会へ助成 13,234	
観光振興	県観光連盟へ助成 32,000	県観光連盟へ助成 15,000	
愛称化			県事業 30,000 促進協議会へ助成 15,000 県観光連盟へ助成 15,000
計	112,000	28,234	60,000

実績になつている。ホームページ等で見たときにわかりやすくすることやホームページからクレジットカードなどできればさらに便利ではないかと思うがいかがか。

政策企画局長 ホームページを使ってやるという事はふるさと納税をやる上で重要な手段であり、今後ホームページを使つていろんなPRを二層進めていくように工夫したい。

クレジットカードによる支払いについては、初期投資が必要だとか、手数料がかかるなどの課題もある。その辺も含めて、便利な制度だということとはよく承知しているので、今後検討したい。

人口減少に伴い利用客が減る公共交通はその存続が難しくなりつつあり、石見地方の中山間地では私鉄バス路線の廃止が提案されています。会社としては収益が見込めなければ廃止せざるを得ないのはわかりませんが、高齢化が進む中であつて、お年寄りや子どもたちの移動手段であるバスがなくなることは、地域での生活ができることにつながります。

地域で助け合うシステムがあればまだしも、集落のほとんどが高齢化している中ではそれも難しくなっています。行政が何らかの形で公共交通など移動手段を確保する手立てを考えなければいけません。空路以上に、日々の生活に密着した公共交通の存続を考えることが、高齢化が進む島根にあつてはより重要ではないかと考えます。石見空港のように2時間以内で近くの空港にアクセスできる環境にあつて、本当に路線の存続が必要かどうか、それよりもその空港へのアクセス環境を整備することなど、地域住民の生活に視点を置きいろいろな面から考える必要があるのではないのでしょうか。

## 中核病院を維持する努力

県西部の中核病院の現状について、5月19日に文教厚生委員会で調査に出かけました。

益田赤十字病院の医療圏域は香川県に匹敵する広さで、地域の病院が医師不足で対応できない部分も担い中核病院として、住民の皆さんのまさに命の綱となつて業務にあたっています。

それだけに医師の皆さん医療従事者の皆さんの負担は大きくなっています。そうした状況を地域の皆さんに知ってもらうためのシンポジウムを開きながら地域の皆さんと一緒に問題解決に取り組んでいってほしいです。



浜田医療センター受付窓口

浜田医療センターは、昨年11月から新しく浜田駅と二階通路でつなぐ場所に移転新築し、浜田医療圏域のみならず県西部の中核病院として医療にあつていきます。

新築とともに、医師や看護師を集め定着させる取り組みとして、二交代制勤務をとり負担軽減に努め、質を高めるための研修や留学の制度の充実に取り組んでいます。また、新しく取り入れられたPET-CTによるがん検診の向上に努めています。



がん発見に活躍するPET-CT



電子カルテで机の上から紙がなくなった

## 島根の政権交代を

7月11日の参議院議員選挙は残念な結果に終わりました。応援していた皆さんには申し訳ない結果でした。

岩田ひろたかさんという素晴らしい候補を得ながら、島根の政権交代を実現することができず、まだまだこの地域の保守地盤は厚いと感じています。今回の敗因には、菅首相のぶれる発言問題が大きく取り扱われていますが、それとともに、地方組織の脆弱

さも敗因の一つに挙げられます。相手陣営に属する地方議員は、私たちの10倍です。残念ながらその数の力に負けてしまいました。

来年は、私も挑戦する県議会議員選挙などの統一地方選があります。まずは、議員の増員を目標に取り組むことであり、応援してくださる方々のしっかりとしたネットワークを作ることです。岩田ひろたかさんは、ブログで「地域の閉塞感や未来への不安

を取り除くのは政治の使命です。そしてお金や地盤や名前がなくとも、志のあるものが政治の世界に挑戦できる社会は、未来を拓く可能性にあふれた社会であると思います。島根の自然や歴史・文化、心豊かな人々。その一つ一つを政治が下から支えていける、そんな社会、そんな日本を実現するために岩田ひろたかは挑戦を続けます」と述べています。岩田さんのこの決意を遂げさせるためにも、私たちはあきらめず、島根の政権交代をめざして頑張ります。



選挙を終えてあいさつする岩田さん